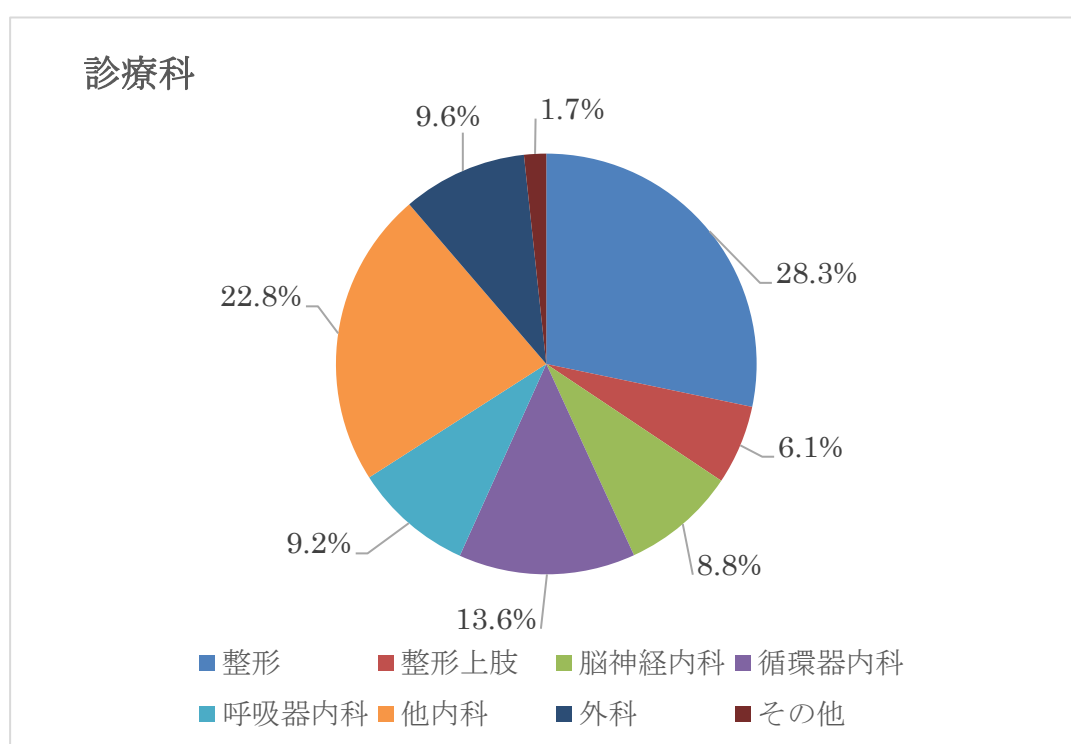


1. 令和6年度 一般病棟の実施状況

1年間の一般病棟におけるリハビリ実施患者数

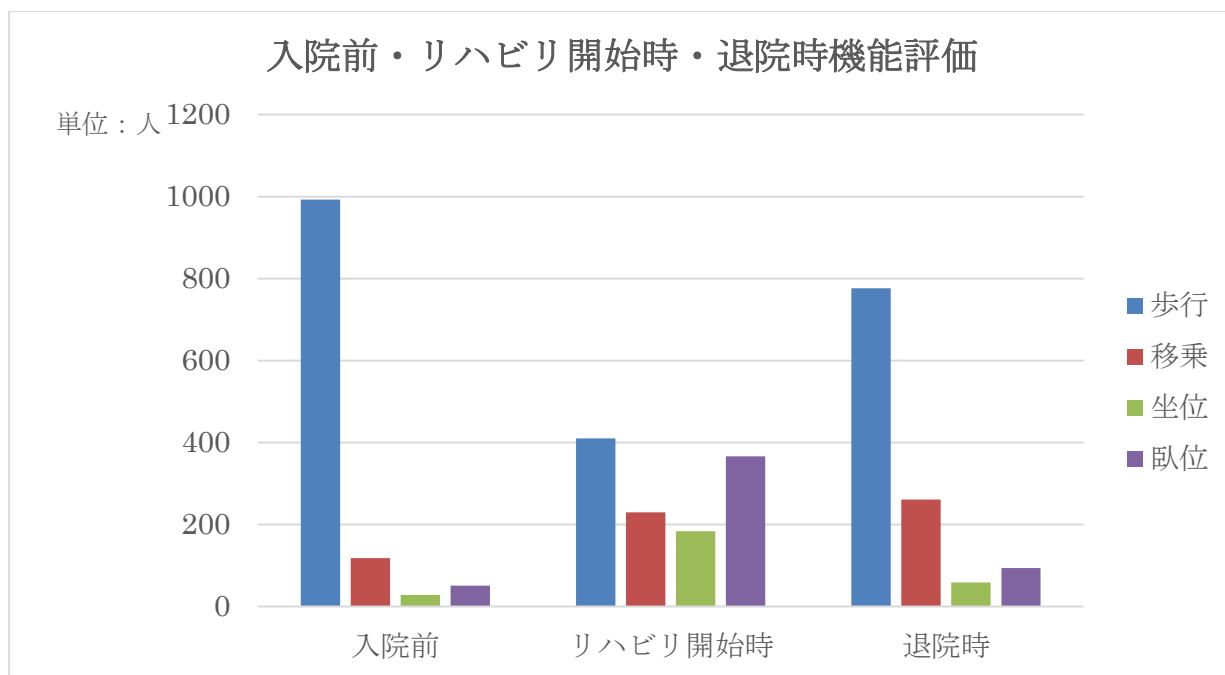
男性	女性	合計	年齢平均	平均リハ期間
598 名	655 名	1253 名	81.9 歳	18.1 日

一般病棟とは、病気、転倒、けがなどで入院し、治療を行う病棟です。リハビリは主治医の指示のもと、可能な限り早期から介入いたします。



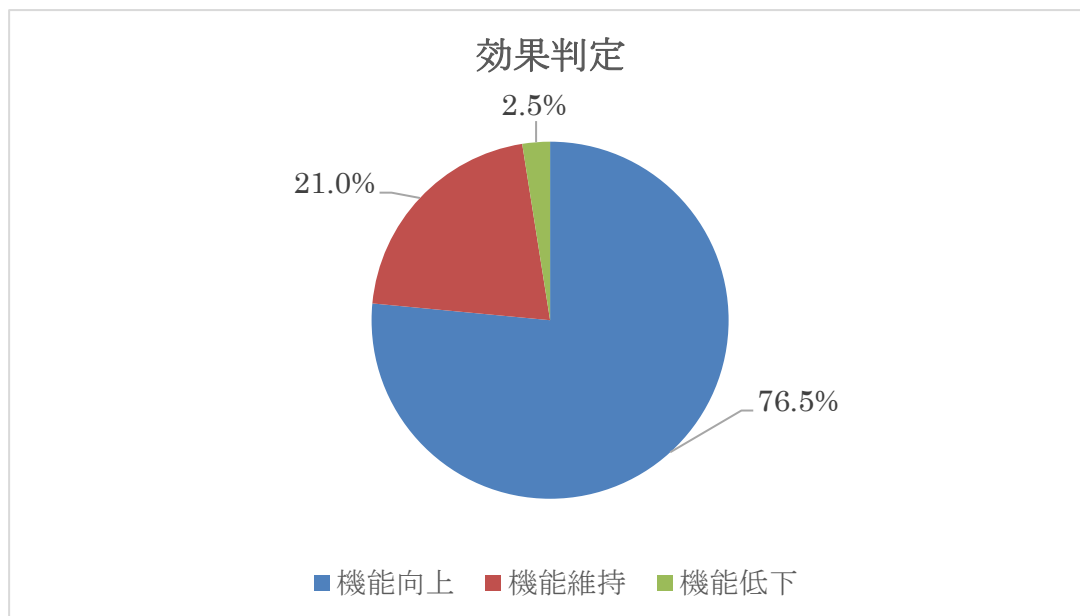
※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

骨折、肩腱板損傷、人工関節などの整形外科疾患、脳梗塞、肺炎、心疾患など内科疾患、外科手術後の入院患者様が、主な対象になります。



リハビリ開始時、機能低下していますが、リハビリを行うことにより、機能の回復が見込まれます。

入院中にリハビリを継続する病棟（回復期病棟）、退院前に療養する病棟（療養型病棟、地域包括ケア病棟）へ移動する場合がありますが、ほぼ機能回復し、ご自宅へ退院されます。施設などの対応になる場合も含めて、スムーズに退院できるように、専門の職員がご支援いたします。



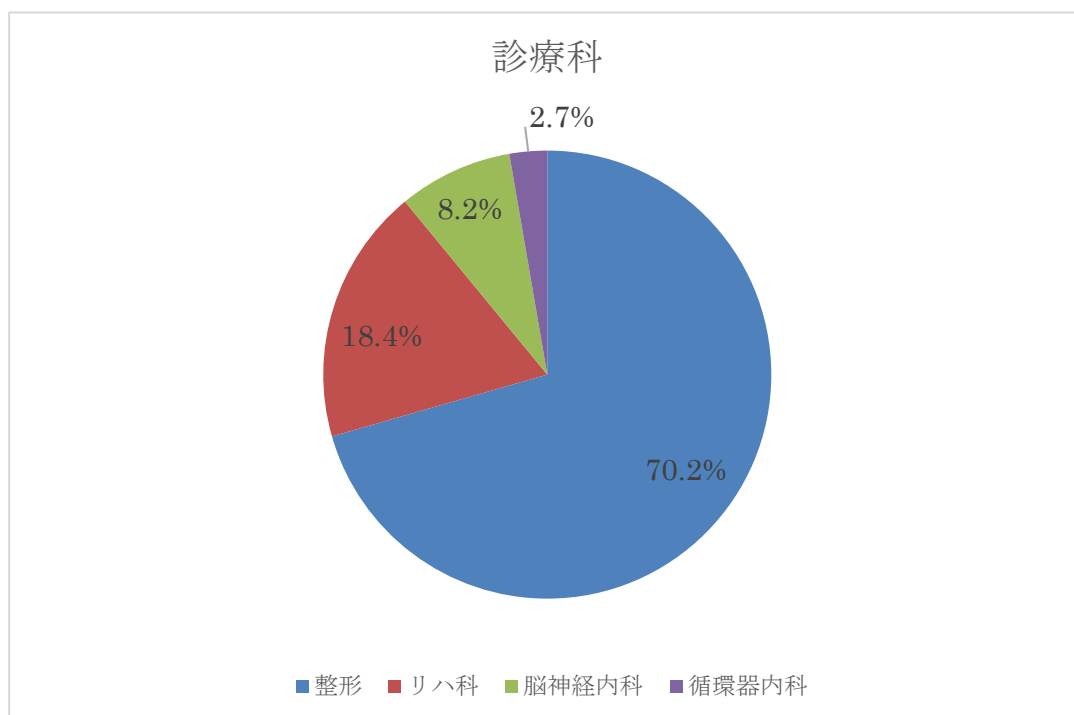
※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

2. 令和6年度 回復期病棟の実施状況

1年間の回復期病棟におけるリハビリ実施患者数

男性	女性	合計	年齢平均	平均リハ期間
93 名	162 名	255 名	77.5 歳	50.0 日

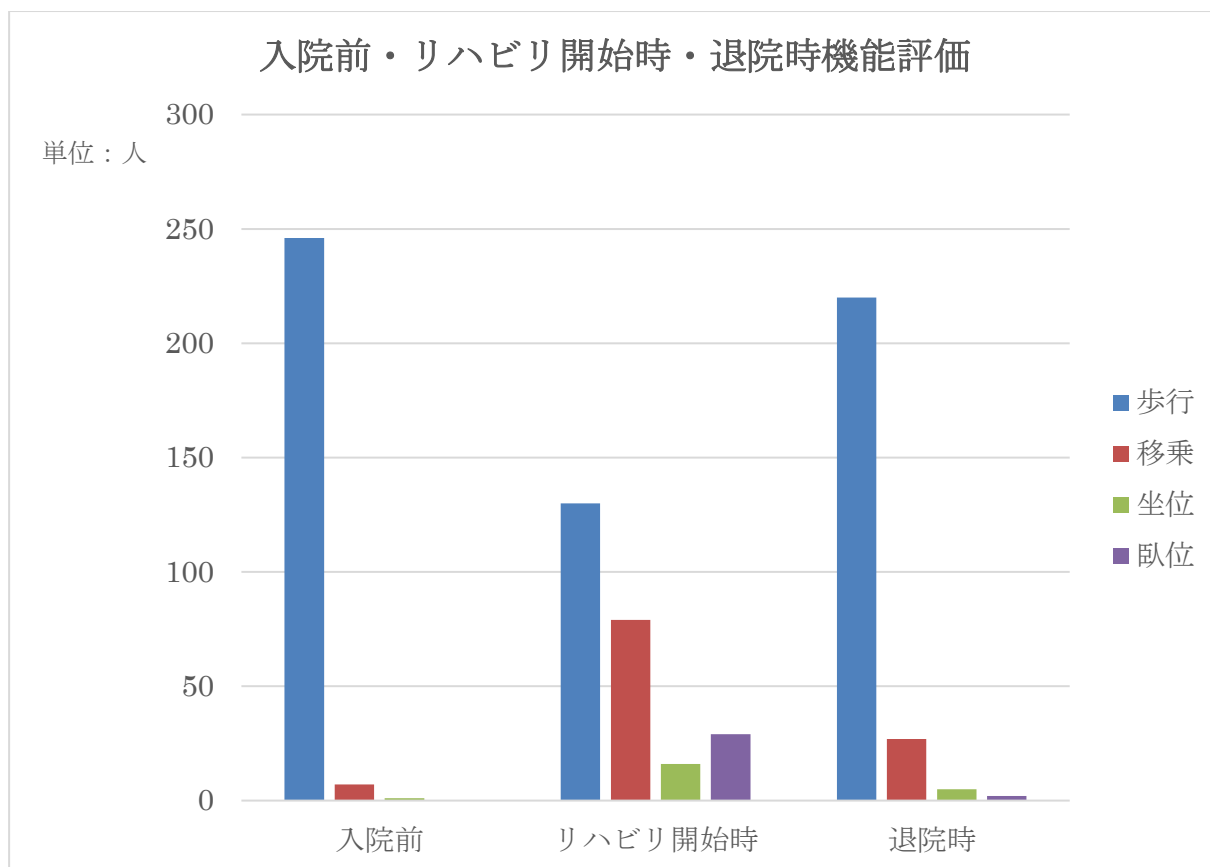
回復期病棟とは、一般病棟での治療が終わり、退院に向けて、身辺動作や歩行などの機能の回復を図るために、リハビリを集中的に行う病棟です。



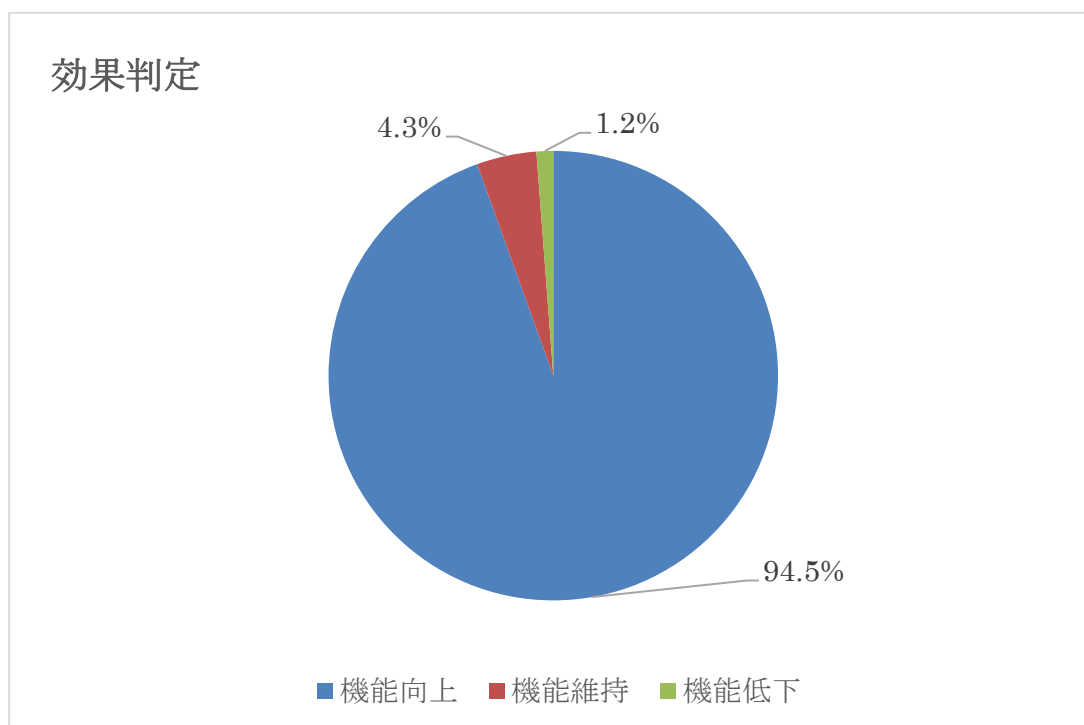
※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

当院の一般病棟から転棟、または他の急性期病院から転院されて、回復期病棟に入棟となります。

大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、人工関節置換術などの整形外科疾患、脳卒中などの中枢神経系疾患、その他内科疾患の患者様が適応になります。



PT、OT、ST が個々の患者様の状態にあわせた個別リハビリを行い、機能回復を援助いたします。主に、PT は歩く練習、OT は手を使う練習、ST は話す・食べる練習を行います。



※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

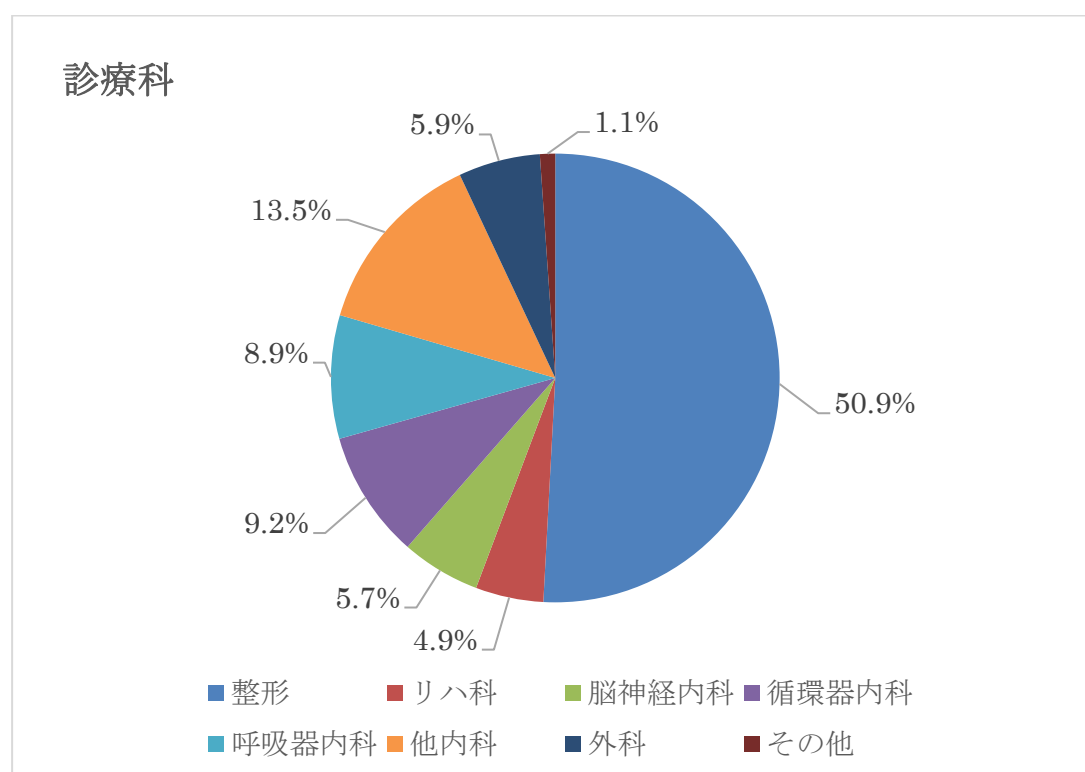
退院に向け、ご本人・ご家族を交えたカンファレンスを定期的に行います。必要に応じて、ご自宅へうかがって、日常生活動作の練習を行ったり、手すりの設置など必要な環境整備のご助言をさせていただきます。9割以上の方が機能回復し、約7割の方がご自宅へ退院されています。

3. 令和6年度 地域包括ケア病棟の実施状況

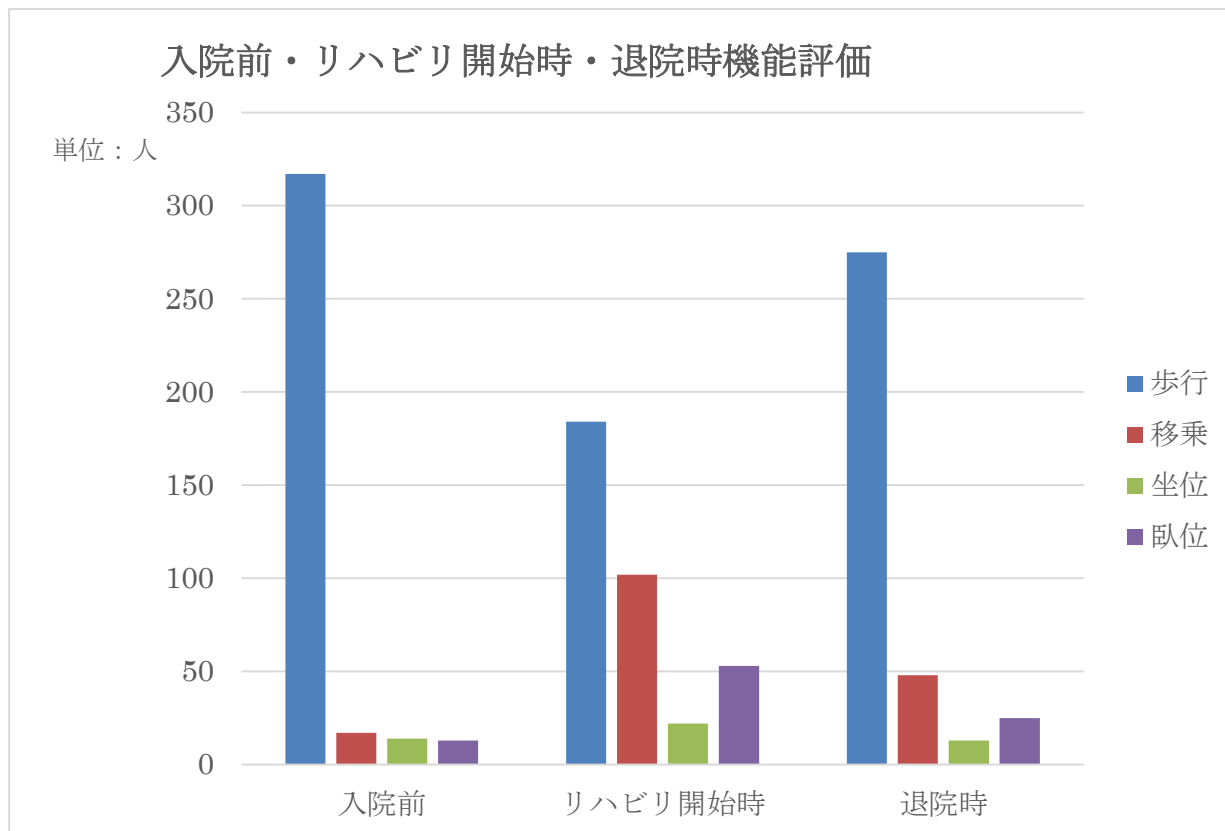
1年間の地域包括ケア病棟におけるリハビリ実施患者数

男性	女性	合計	年齢平均	平均リハ期間
137 名	234 名	371 名	81.6 歳	25.0 日

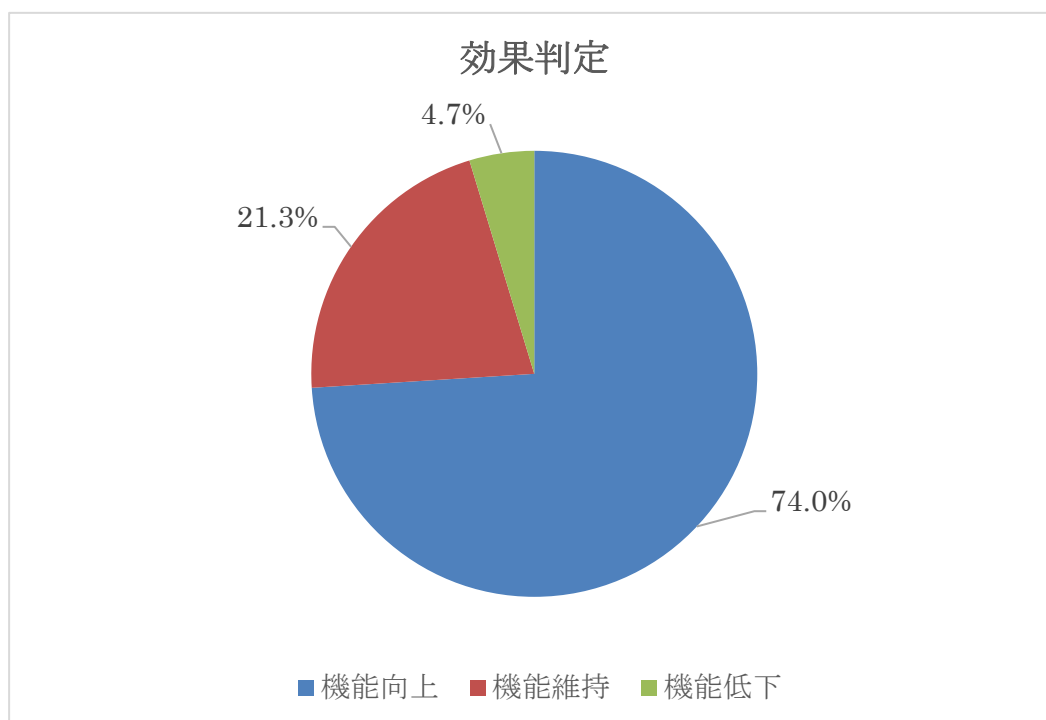
地域包括ケア病棟とは、様々な役割を果たす病棟です。急性期の治療や退院調整を目的とした患者様が入院されます。患者様の状態に合わせて、機能回復及びADL向上を目指したリハビリを行います。



※四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



当病棟へ入棟後、退院に向けて、主に日常生活の場面でリハビリを行います。



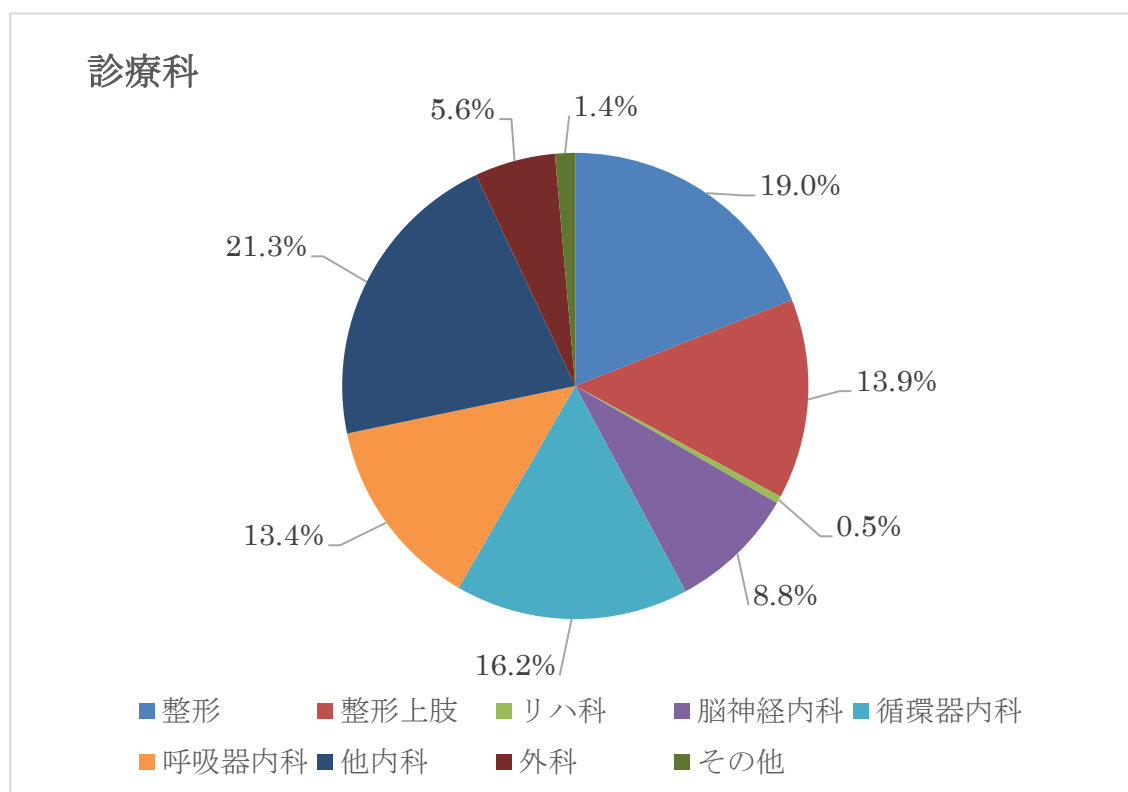
※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

4. 令和6年度 地域包括医療病棟の実施状況

1年間の地域包括医療病棟におけるリハビリ実施患者数（下半期）

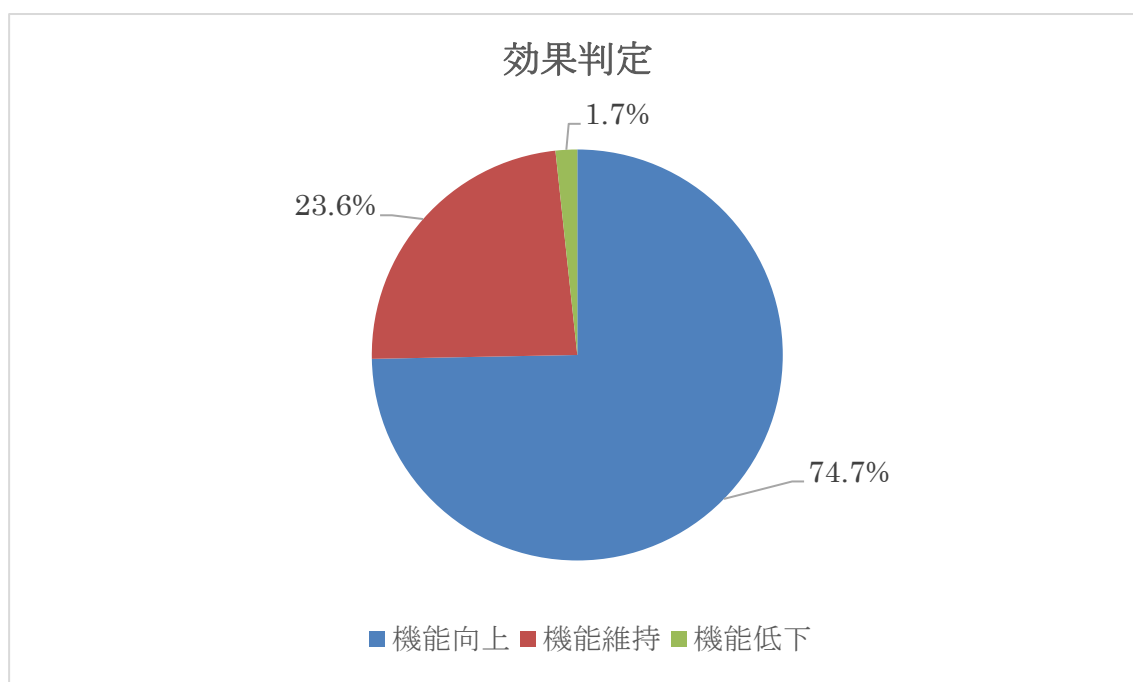
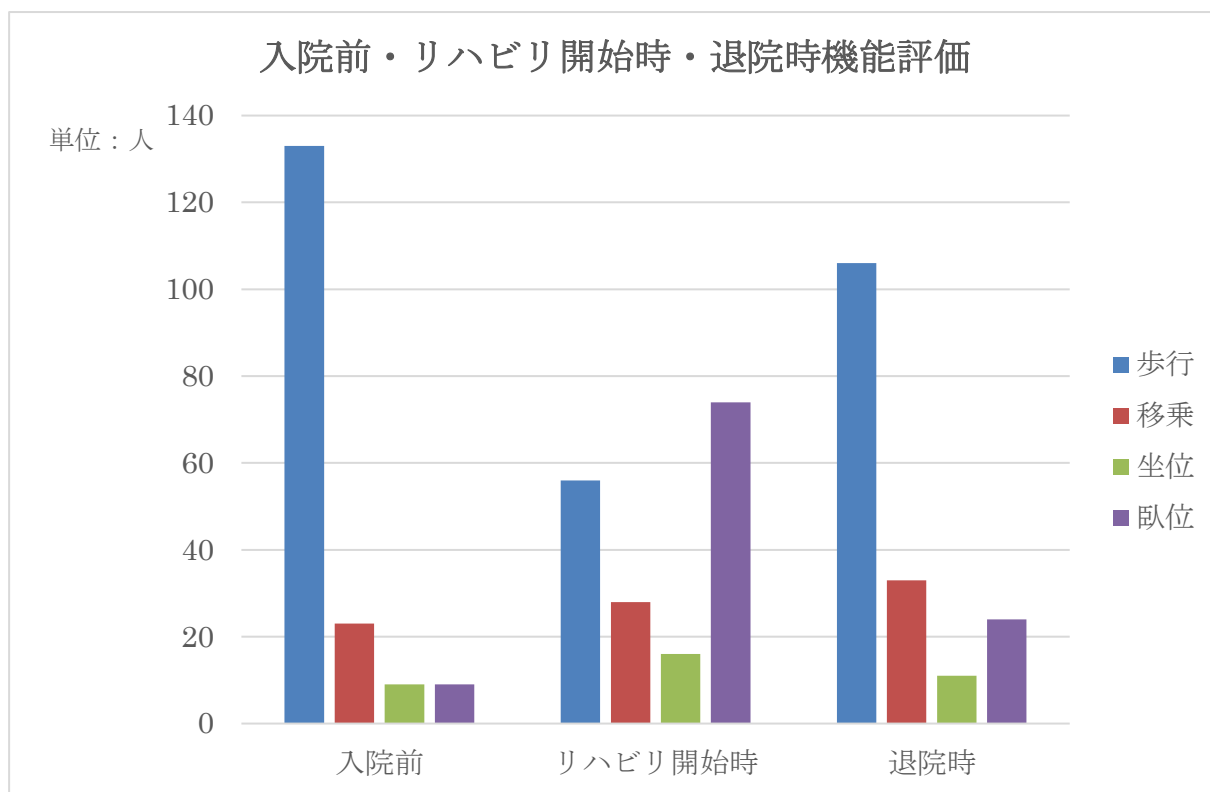
男性	女性	合計	年齢平均	平均リハ期間
97名	89名	186名	84.2歳	15.6日

病棟再編に伴い2024年10月から地域包括医療病棟が新設されました。この病棟では、急性期の治療を行い、早期に自宅退院を目指します。入院日からリハビリが介入し、ADL向上を目指したリハビリを行い、スムーズに退院できるよう退院支援を行います。



※四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

当病棟へ入棟後、早期退院を目指して、ご自宅での生活を想定しながら、リハビリを行います。



※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

5. 令和6年度 外来リハビリの実施状況

退院後もリハビリが必要な方は、一定期間、通院していただきリハビリを継続します。主に以下のような場合に、療法士が個別リハビリを行います。

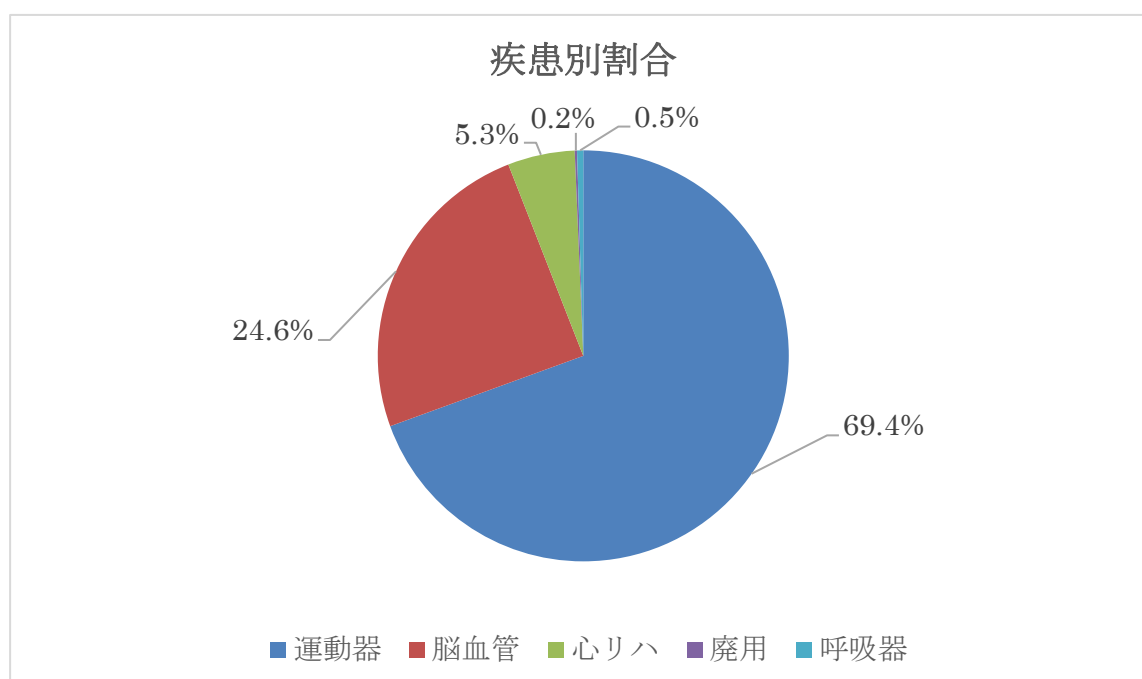
- ・骨折後、関節炎、靱帯損傷など整形外科疾患。
- ・脳卒中、パーキンソン病など中枢神経系疾患。
- ・失語症など高次脳機能障害。
- ・慢性閉塞性肺疾患、心筋梗塞など内科疾患。

より活動的なご自宅での生活を目指して、退院後の機能維持、機能回復を支援いたします。

外来リハビリ実施患者数

(人)

PT	4428
OT	4704
ST	551
合計	9121



※四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。

6. 令和6年度 介護保険分野の実施状況

退院後や在宅においてリハビリが必要とされる要支援、要介護者に対し、通所リハビリまたは訪問リハビリを提供しています。

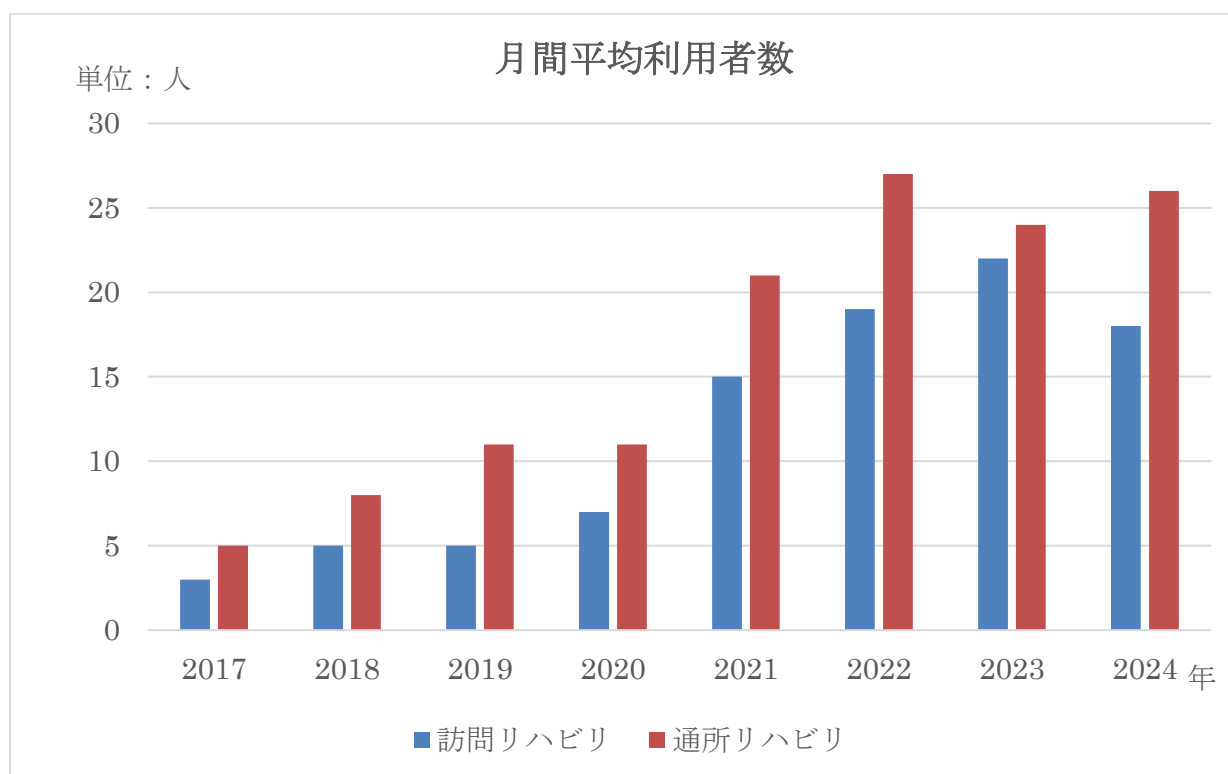
通所リハビリ

- ・ 当院に通所していただき、療法士が個別リハビリを行います。
- ・ 週1～2回の頻度で、1回あたりの利用時間は1時間単位で調整できます。

訪問リハビリ

- ・ 通所が困難な場合、療法士がご自宅に伺い、リハビリを行います。
- ・ 介護認定されていない場合においても、医療保険下で訪問リハビリを主治医の指示に従って行います。

在宅生活を、ご本人、ご家族がより快適に過ごされるように、支援いたします。



※ 当院の感染予防対策に従い、患者様にもマスクの着用と、リハビリを行う前と、行った後の手指消毒にご協力を頂いております。